

♪ わが家のアイドル ♪



南大伴町
泉 来瞳ちゃん（2カ月）
産まれてきてくれてありがとう♡
すくすく育ってね。



桜井町
田中 誠也ちゃん（7カ月）
いつも、笑顔ありがとう！
元気いっぱい大きくなってね！



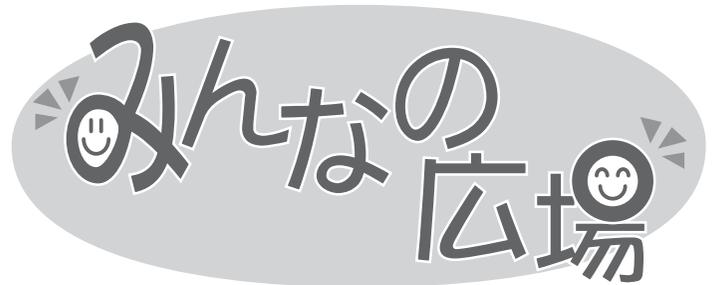
伏山
山下 晴也ちゃん（3カ月）
はるちゃんが産まれて来てくれて、
パパもママも幸せです♡

宛先

	584-8511
住所・氏名(ふりがな)・電話番号	富田林市役所 情報公開課広報係 常盤町1番1号

わが家のアイドル（対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可）は、写真の裏に、**名前（ふりがな）と撮影時の年齢（月齢）**を記入し、**メッセージ（20字程度）**を添えて、封書で左記の宛先まで応募してください。

なお、今応募された場合、掲載は約2カ月後になります。



短歌

武都紀 若松 寿子選

秀歌

有料のケアハウスにて暮す日大きな船に乗りあがるごとし 甘南備 笹原肇
△選評▽作者は九十一歳のご高齢で環境が変わっても穏やかに受け入れて気持ちよく「大きな船に乗りあがるごとし」と表現された。前向きなお歌は爽やかに読み手に感動を与える。

拭き掃除勝るものなし手の動き人差し指に親指小指 不動ヶ丘町 堀内 きみ子
亡き妻が植えしつわぶき広がりてところ狭しと咲き誇りけり 南旭ヶ丘町 柳井 義信
拾い来て鉢に育ちし銀杏の親樹そっくり黄金葉散らす 横山 幸左 智恵子
鼻緒切れ校まで裸足一里半昭和にあった原始の時代 東板持町 洲濱 耕咲
高齢の多き団地に赤ちゃんの泣き声を聞き心のみし 錦ヶ丘町 松島 清美
葉を脱ぎて鋭き樹肌が剥き出しに冬への覚悟を決めたらしき 高辺台 中里 康子
テレビにはノーベル賞の梶田さん「酒が好きです」と気さくな笑顔に 選者 詠

※3月号は「俳句」を掲載します（なお、応募は1月31日で締め切りました）。

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のはがきで応募してください（1人各5点まで）。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。

4月号の「川柳（宿題1組）」は2月29日（月）、5月号の「短歌」は3月31日（木）、6月号の「俳句」は4月30日（土）までに応募（いずれも必着）してください。

宛先は上記をご覧ください。

～げんきっ！NPO～ 地域で取り組む「元気なまちづくりモデル事業」

現在、第2期元気なまちづくりモデル事業として、5地区で、単一町会（自治会）の枠を越えたより広い地域の住民が連携し、絆を深め、地域の課題解決や活性化のための取り組みを実施しています。

今回は、それぞれの地区での取り組みを紹介します。
喜志西地区 6町会と小学校や幼稚園、保育園、社会福祉法人が連携し、「思いやりの心」を育む地域として喜志西小学校区での絆をつくるため「夏祭りフェスタ」や「グラウンドゴルフ」、「防犯パトロール」など各町会が実施していた事業を小学校区で実施しています。

東板持地区 新たなにぎわいや利便を創出することで、「ずっと住み続けたいと思えるまち」をめざし、3町会と4自治会、NPO法人などが構成員となって、高齢者が病院や買い物へ行くための「無償運送サービス」、世代を超えて楽しめる「ひまわり迷路」や「地域合同夏まつり」などを計画、実施しています。

藤沢台地区 「安心安全なまちづくり」を人任せにするのではなく、住民自らが考える機会、場所および習慣をつくり、自主防災や要援護者支援、防犯の活動など同じ地域で活動しながら交流や連携ができなかった各

団体間をコーディネートし、情報共有の仕組みを創ることで、広域的に連携する工夫をしています。

明治池地区 「すこやかネット」を活用して次世代の人材育成を図る仕組みとして「すこネットクラブ」を設立し、その人材が、地域や家庭、保育園、幼稚園、小・中学校との連携を担うコーディネーターとして活動できる基盤づくりをしています。

彼方地区 7町会が、第1期に引き続いて地域の散策マップやカレンダー、絵はがきの作成などを通じて、歴史や伝統などを次世代に伝え、身近にある四季折々の豊かな自然と受け継いだ歴史のあるまちを住民自身が再発見し外部に発信することで、人が訪れ、人が触れ合うまちをめざしています。

このように住民の皆さんが、地域の課題解決や活性化に向けて同モデル事業を進めています。

現在、同モデル事業が実施されている地域にお住まいの人は、積極的に参加してみたいかがでしょうか。新たな出会いや発見があり、これまで以上に地域に愛着を持つことができると思います。実施されていない地域にお住まいの人もこれまで生活してきた地域、これから子どもたちに託すまちのために何かできることはないかと振り返ってみてはいかがでしょうか。

市民協働課（内線469）

わがまちこのひと

富田林寺内町 女性専用古民家宿の宿主 泊野 千香代さん

富田林町

今回は、昨年4月に富田林寺内町にオープンした、18歳以上の女性専用宿「ご婦人乃宿 泊野」の宿主、泊野 千香代さんを紹介いたします。

この「ご婦人乃宿 泊野」は、重要文化財旧杉山家住宅の少し北側のとても静かな場所に位置しています。宿泊客は1日5人限定で、昔ながらの趣ある古民家宿のため、時間がゆっくりと流れるような雰囲気を感じています。

泊野さんは以前から英語を使ってコミュニケーションできる仕事をしたいと思っておられ、20歳代の頃に通っていた英会話教室の外国人講師が「日本の旅館は高くて泊まれなくて残念」と話されたのをきっかけに海外の人に安く泊まってもらえる日本家屋のゲストハウスを経営しようと決心されました。

その後、京都の祇園の料理旅館などで旅館業や接待を勉強し、富田

林寺内町の町家を紹介する「LEPまちかっ」から、この町家を紹介されたとき、



やつと自分の望む建物に巡り合えたと思ったそうです。

宿泊客は、インターネットで探して来られる人がほとんどで、台湾からのある旅人は、多くの観光客でにぎわう京都や奈良ではなく、有名な観光地でもない寺内町を選び、約1週間、ただのんびりと寺内町の静寂さと時間の流れを楽しまれていたそうです。

また、男性の宿泊はできないため、一緒にタイから来日した男性を一人大阪市内のホテルに残し、自分だけ泊まりに来られた人もいるそうです。

日本独特の雰囲気を味わっていただくため、地元のイベントがあるときは必ず紹介するなど、「日本人はもちろんのこと、たくさんの方からの旅人に泊まっていただくためには、情報の発信力が大切です」と、寺内町を含め地元の魅力発信にも力を入れてくれています。

そして、「寺内町をはじめ南河内にあるたくさんの方の名所旧跡や魅力ある観光施設はまだまだ知られていないので、駅ごとに乗り捨てできるような電動レンタサイクル店がほしいですね」と話されました。

今後多くの方がのんびりと宿泊される古民家の宿主として活躍されることを期待します。